

『ブランコ』 作：ポチ子

『ブランコ』 作：ポチ子

日陰のブランコを漕いで、

思いきり風を浴びる。

吹く風とは違って、

この風は私だけのもの。

冷たくて、カラっとした、

私が大好きな風だ。

休み時間は気にしなくて大丈夫。

今日はずっとこの風を浴びていよう。

順番待ちをしてる子もいないから、

譲る必要もない。

立ち漕ぎをしても、

怒る人はいない。

私はもう大人だから、

何をしたって自由なのだ。

好きな事を好きなようにしたって、

本当は良いはずだから、

今日はブランコを漕いでいよう。

気が済むまで、ずっと。